

町長コラム

第190号

下表は、2020年に実施した国勢調査による10年、20年後の美里町の人口推計です。

(単位：人)

	2020年	2025年	2035年	2045年
人口総数	11,039	10,682	9,969	9,014
0～14歳	1,161	1,062	860	753
15～64歳	6,151	5,731	5,021	4,113
65歳以上	3,727	3,889	4,088	4,148
75歳以上(再掲)	1,858	2,242	2,688	2,660
85歳以上(再掲)	667	773	1,198	1,317

国勢調査は5年に一度、住民票ではなく実際に生活しているかどうかで調査します。住民票があつても住んでいる場所が違えば含まれません。

さて、美里町の将来推計は、高齢者増と子ども・働き手の減少が同時に進行します。2025年を基準に85歳以上が2035年は1.5倍、2045年は1.7倍です。0～14歳の平均人数は、2025年71人、2035年57人、2045年は50人と、1学年の人数で比較するとわかりやすいと思います。税金を納めていただける働き手の急激な減少、医療・介護給付の増加と税収

未来は選択するもの ①人口推計

が減って支出が増え、今ままの行政運営を続けることは困難だと考えられます。

これが美里町の未来の姿です。

町長の使命は、住民が安全安心して幸せに生活できる地域です。この使命を貫くため、不都合な未来を今から皆さんが困らないよう対応しなければなりません。次の世代にツケを回さない、未来を直視し、町長就任時からこの考え方を持っています。

経済が右肩上がりの時代にできた仕組み、考え方などは、超少子高齢化・人口減少や価値観の多様化に合わなくなつたものが出てきました。

これらの傾向は、近隣の自治体でも日本全体も同じです。生活必需品を扱うお店、医療機関、銀行、農協なども経営が成り立たないと統廃合が進み、ますます不便になります。一方、高齢の一人暮らし世代は、ますます増える見込みです。通院や買い物、ゴミ出し、地域の共同作業、農地などの管理を誰が担うのか、今までに無い課題です。起りうる不都合を想像し、どう対処するか、税収も役場職員数も行政区役員の担い手も減少し、今までの延長では無い、新たな考え方、方法が必要です。

美里町の昔ばなし

23 猪俣八景と七名石 (猪俣)

美里町文化財ガイドブック2

「八景と七名石」という話が野の中島家に伝わる古文書に残されています。

八景について古文書では、五大堂、馬頭様、高台院、觀藏院、野中坊、普門寺、万年橋、うたん坂をあげています。

丘の斜面に極彩色の堂が立ち並ぶ五大堂、老松に囲まれた馬頭觀音堂や高台院、三島大明神を祀り安産守護所であった野中坊、大池に浮かぶ柴舟を楽しむ普門寺、天神河原の万年橋は雷電三社（甘粕神社・雷電神社・東大澤神社）の三地点を結ぶ正三角形の中心点に位置し、これら3地点はいずれも眺望の素晴らしい所です。

七名石には、「ふく石」「じじい石」「うば石」「かがみ石」があります。

「ふく石」は、現在、美里ゴルフ俱楽部敷地内にあります。

七名石には、「ふく石」「じじい石」「うど石」「うなり石」「こぶ石」があります。

「こぶ石」は野中の横関酒造店の庭にあります。

七名石のうち、「ふく石」「かがみ石」「うど石」「うなり石」「こぶ石」以外の石の所在はわかつていません。

※ガイドブックは、美里町コミュニティセンターで無料配布（1人1冊まで）しています。

高台院

スポーツのチカラでまちを元気に!!

「西武ライオンズとの連携協定」

これからよろしくね

1月19日(日)、美里町は埼玉西武ライオンズと連携協定を締結しました。



【協働して取り組む事業】

- スポーツ振興に関すること
- 青少年の健全育成に関すること
- 地域振興に関すること



「親子野球体験教室を開催しました！」

協定締結後、埼玉西武ライオンズベースボールアカデミーコーチによる親子野球体験教室を開催しました！

